



探究科の2年次と3年次の国語班が、第2回中高生日本語研究コンテストに出品！

探究科

日本語学会が主催する、第2回中高生日本語研究コンテストに、探究科の2年次と3年次の国語班が、発展探究の授業で取り組んだ課題研究の成果をもとにして作成した動画を出品しました。2年次生が5人、3年次生が5人参加した本コンテストは、中学生や高校生の視点で見つけた日本語に関する研究のアイデアや成果を募集し



第2回中高生日本語研究コンテストに出品した探究科2年次と3年次の国語班

たもので、「こんな研究ができそう」というアイデアを発表するアイデア部門と、自分たちで調査や分析をした結果や結論を発表するリサーチ部門がありました。このたびのコンテストには、アイデア部門に125作品、リサーチ部門に101作品の出品があり、提出した動画をもとに審査が行われました。

「母子関係をえがいた小説に、読者が何を期待しているのか」をテーマとして研究している2年次の国語班は、これまでの研究成果をもとに今後の研究の方針を述べた動画を作成し、アイデア部門に出品しました。また、「鈴木三重吉による『ごんぎつね』添削の方針について」研究した3年次の国語班は、新美南吉が「赤い鳥」に寄稿した「権狐」が、掲載に当たって鈴木三重吉により添削されたことについて、なぜ添削が行われたのかや添削前と添削後ではどのような差異があるのか研究した



研究に取り組む探究科2年次の国語班の生徒

成果を述べた動画を作成し、リサーチ部門に出品しました。残念ながら、入賞(アイデア部門は6位以内、リサーチ部門は10位以内)は叶いませんでしたが、審査をされた日本語学会の皆様からコメントをいただくことができました。いただいたコメントをしっかりと振り返り、研究をより一層深めましょう。

NCAの時間に、3年次生を対象とした、アラカルト講座を実施しました。

普通科

探究科

3年次のすべての生徒を対象としたアラカルト講座を、9月20日(水)から11月22日(水)までの総合的な探究の時間(本校では、「NCA」と呼んでいます。)に実施しました。今年度実施されたアラカルト講座は13の講座で、生徒はこの中から1講座を選択して受講しました。それぞれの講座では、和歌や漢文の読解方法や小論文の書き方、歴史と文化の関わりなどについて実践的に学んだり、普段の授業で取り組むことができなかった観察、実験などに取り組んだりしました。それぞれの講座は9回実施されましたが、大学入試を控えた3年次生は、これまで身に付けた知識や技能を振り返りながら、学びを深めることができました。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。

マレーシアの Sekolah Menengah Sains Sultan Mahmud の生徒と、オンラインで交流!

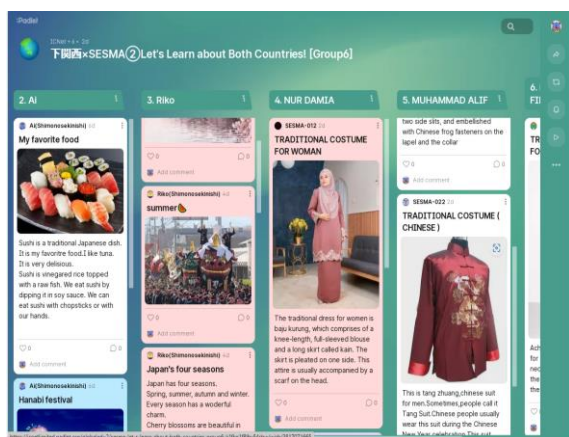
普通科

探究科

オンラインを活用した海外の高校生等との交流を、今年度はマレーシアにある Sekolah Menengah Sains Sultan Mahmud (スルタンマフムード理科中等学校 以下、「SESMA」という。)の生徒と実施します。交流には、普通科の1年次生が6人、2年次生が3人、探究科の1年次生が8人、2年次生が7人参加します。SESMAは、マレー半島の東海岸にあるトレガンヌ州の学校で、13歳から17歳の生徒が学んでいます。国立の全寮制の学校で、科学技術教育や外国語教育に力を入れられており、日本語を学ぶ生徒もいます。11月30日(木)に行われたオリエンテーションでは、交流で使用



オリエンテーションで、役割を分担する生徒



Padletで、それぞれの国の文化や習慣などを紹介

すしや瓦そばなど日本の風景や食べ物をマレーシアの生徒に紹介することができました。さらに、和服やひな祭り、海峡花火大会、四季の移り変わりなど、日本の文化や習慣、気候の特徴などを伝えることができました。

交流は、12月21日(木)と1月11日(木)にも実施されます。残り2回の交流では、「SDGsに示された17の目標を、2030年までに達成するため、高校生ができること」をテーマとして、英語でディスカッションします。それぞれのグループで協力して、よりよい交流となるよう準備を進めてください。

するソフトウェアであるZOOMやPadlet(オンラインで使用できる掲示板)の使い方、ディスカッションのテーマについて説明がありました。さらに、生徒は6つのグループに分かれて、交流で行う活動の分担を行いました。

12月7日(木)に開催した第1回の交流には22人の生徒が参加し、これから3回にわたって交流するグループに分かれて、本校の生徒とSESMAの生徒が互いに自己紹介を行いました。さらに、それぞれが住んでいる地域のおすすめの観光地や食べ物、文化や習慣などを紹介しました。本校の生徒は、Padletに掲載した写真を示しながら、角島などの下関の風景や瑠璃光寺の五重塔、



SESMAの生徒とオンラインで交流!

探究科2年次の国語班の生徒が、出版社に質問しました。

探究科

「母子関係をえがいた小説に、読者が何を期待しているのか」について研究を進めている探究科2年次の国語班が、10月12日(木)の発展探究の授業において、研究対象としている小説の出版社7社に電話で質問しました。それぞれの小説の売上部数や読者から寄せられた感想がどのようなものであるかなどを尋ねることができました。研究班のメンバーで交代して、緊張しながら電話で質問しましたが、それぞれの出版社のみなさんから丁寧にご対応いただき、研究を深めるきっかけをいただくことができました。



緊張しながら質問する国語班の生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。